

予算特別委員会

Q & A

Q 道路特定財源の暫定税率部分が無くなること

によって、町の予算はどのくらい減るのか。

A 約5,200万円程度の歳入減額になります。

Q 消防ポンプ車購入時の補助率の内訳は。

A 県が1/4の補助で、残りは起債と町負担になります。

Q 嘱託徴収員報酬の増額理由は。

A 嘱託徴収員の報酬は基本給と歩合給になっており、毎年徴収金額が多くなってきたためです。

Q 実質公債費比率は、平成18年度決算で、17・6%です。

Q 放課後児童健全育成事業の利用状況は。

A 平成19年5月1日現在で五霞児童クラブの方で43人、川妻児童クラブの方で22人が利用しています。



Q 保育料の算出基準は。当町は10段階に分れており、所得によって保育料が決定されます。

Q 不要入れ歯の回収はどのくらいあったか。

A 町と社会福祉協議会で約20個の協力がありました。

Q 病害虫防除対策事業費535万円の内訳は。

A 水稻育苗箱用薬剤補助金479万円、有害鳥獣の駆除費で31万円、育苗施用剤の助成金システム負担金で20万円、芝焼き燃料代で5万円という内訳です。

Q 五霞町からさしま環境に搬入されるごみの量はどのくらいか。

A 平成19年度末現在で可燃ごみ、不燃ごみ等、合計で約3,500トンです。

Q 家庭教育学級の出席者数は。

A 現在、5学級を開設しており、約300名の方々が出席しています。

Q 田園空間整備事業の進捗率は。

A 約30%です。

Q 公共下水道の処理人口と普及率は。また未加入の世帯数はどのくらいか。

A 平成18年3月31日現在で、処理人口が6,385人、普及率は64・3%で、未加入世帯は約400世帯です。



消防ポンプ車輛



入れ歯回収箱